

どじょうつかみ

9月14日(月)

今夏も長い間 35℃を越える猛暑日が続きました。プールでの水遊びは子どもの体の熱を下げてさっぱりとした気分してくれます。

しかし9月中旬にもなると、秋風が吹き始めプールとのお別れが来ました。ドジョウをプールに放して、乳児も一緒に入ってつかまえようとしたのですが、中々つかまえられず苦闘が続きました。でもさすがに年長さんは、素早く逃げるドジョウに負けませんでした。

お庭で柳川鍋作りをした時に、お酒に酔って動かなくなっていくドジョウを見て「眠っちゃったね」と子ども達。そこにささがき牛蒡を入れて煮込み、卵とじにして柳川鍋の出来上がりです。給食の時に少し食べた子どももいました。

ドジョウを掴んでみる0才児



鍋の中でおとなしくなっていくドジョウを見ている子ども達



あけぼの山公園へ遠足に

9月29日(火)

日に日に秋の景色が濃くなり、コスモス畑が広がるあけぼの山へお散歩です。まだ2分咲き位のコスモス畑を走り回り、トンボを追いかけたり芝生の小高い山をゴロゴロと転がり笑い転げる1才児。大きなバツタを捕まえて大興奮の3才児。広大な公園には池もあり、流水も流れ、桜の山もあります。楽しみ方は年齢によって様々です。

保育園から給食を運んでもらって、秋の風や陽と一緒に食べました。また、施設のおばあちゃんたちと一緒に手遊びをしてあげて、喜ばれました。

この日の朝、登園時に泣いていた年長児を気遣って「Nちゃん、一緒にやろう!」ともう一回、ホールの雑巾がけをする年長児の心の優しさに感動させられました。一人の仲間の苦しさの優しさを差し伸べる6才児の人間力に学ばされた職員です。



草すべり



おばあちゃん達と手遊びする年長さん達



嬉しそうに飛び出す子ども達

うんどう会

10月17日(土)

前日からお天気が心配されましたが、やはり当日は室内でのうんどう会になってしまいました。

春から秋を過ごし、遅く育った子ども達は、一段と張り切ってどの子も待ち遠しかったうんどう会に、意欲満々の表情です。

前半はホールで行い、昼近くに晴れてきたのでかけっこやリレーは外に出て大人も子どもものびやかに走りぬきました。

父母や祖父母の皆さんや卒園生や地域の方々など、大勢の応援の中で子ども達は力いっぱい頑張っていました。

このうんどう会にやって来て一緒にリズムに加わった卒園生(自閉症)が、感想を送って下さいました。彼の成長した姿と文章力に驚きと喜びを分かち合いたく、ここにご紹介いたします。

つばめのうんどうかい

鶴澤 直之/小学校5年生(卒園児)

ちびっ子がかわいかった。
ちょうちよがおもしろかった。
とびばこもおもしろかった。
パン食べておいしかった。

楽しそうだった息子の姿

鶴澤 昌子/卒園児母

運動会へのお誘いありがとうございます。直之は「やらないよ、応援するだけ」と、小学校の運動会でやった応援団の続きをやりたいかったです。

が、聴きなれたリズムのピアノに反応し、身体が動きだし、参加する気になりました。

直之の“ちょうちよ”を見た時は、指先まで神経を行き届け、見事な“ちょうちよ”になっていて、感動で涙がでてきました。

この頃では日常生活の中で、このように神経を使うこと、五感をフル回転で身体を動かすことも少なくなっているだろうと、あらためて有り難い時間だったなあと思いました。

そしてつばめっ子達はみんな、楽しそうに遊びの中でキラキラしながら大切なリズムをやっていました。

つばめでの成長があって、今の直之の成長があると常々感じてはいるのですが、直之自身もつばめ時代を楽しんでいたのだろうと感じさせるように表現してくれました。

つばめでの時間は、いつも直之の底力と原点に返る良い機会を与えてもらっています。有難うございました。